

# 授業改善プラン

地域名	東上総教育事務所	学校名	茂原市立富士見中学校
-----	----------	-----	------------

## 1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 令和4年度の結果を見てみると、県・全国平均をやや下回る結果であった。【様式2-3 研究の概要(1)①】
- 昨年度から引き続き、「記述式」の平均正答率が県・全国平均を下回る結果となっており、無解答も多い。
- 自分の考えをまとめたり、それらを基に表現したりすることがうまくいっていないように思われる。

## 2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 1～3学年のそれぞれの授業において、ICT機器を積極的に活用して自分の考えを比較検討したり、共有したりすることで、書く力を向上させることができるであろう。

## 3. 具体的な実践

- 一方向のみの授業展開にならないように、「①自分で工夫して考える、②小グループでの話し合い、③多様な方法で説明、④自分の考えをまとめる」という流れを意識して行った。数学科以外の教科でも、特性に応じて様々な方法で授業展開をしていた。
- タブレット端末を用いて、自分が調べた情報等について整理し、それを基にして自分の考えをワークシートなどに書くようにした。
- 学びの足跡シートなど、学習について振り返る機会をもつようにした。

## 4. 成果

- 令和3年度から本研究を行ってきた、令和4年度の結果では『事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる』という趣旨の出題において、記述式の問題形式について改善がみられた。
- 校内アンケートでも、ICT機器の利用により、自分の考えを書きやすくなったと多くの生徒が回答した。

## ◆担当指導主事から（東上総教育事務所 指導主事 佐藤 喜保）

- ICT機器の活用をすべての教科で取り入れて授業実践を行い、効果的な活用方法について検討することができた。特に導入や自力解決、比較検討の場面で、効果的な活用が見られた。ICT機器の活用だけではなく、学びの足跡シートでの振り返りの機会を意図的に設定することなどを通して、「書く力」の向上を図ることができた。